

教職員研究グループ活動状況報告書

| | | |
|-----------------|-------------------------|--------------------------|
| 代表者の所 属・職・氏名 | 姫路市立余部小学校 主幹教諭 角野 純子 | 研究グループ名 (学校保健自主研究会) |
|-----------------|-------------------------|--------------------------|

研究テーマ分類番号 (7)

| | |
|--------------------|--|
| (1)研究テーマ | |
| いのちの教育 ~ 保健室での取組 ~ | |
| (2)研究経過及び具体的な取組 | |
| 5月11日 | アンケート調査についての研究 ・内 容：自尊感情を測定するための「日常生活と自分の気持ちアンケート調査」について、東海大学文学部心理・社会学科教授の著書『自尊感情と共有体験の心理学』を読み合わせ、アンケートの概要について理解を深めた。 |
| 5月25日 | 子どもたちの状況報告 ・内 容：各校の保健室での子どもたちの様子、支援について状況を報告した。 |
| 6月8日 | アンケート調査に向けての計画 ・内 容： 「自尊感情の4つのタイプ」について理解を深め、各学校でのアンケート実施のための取組を計画する。 各校の保健室での子どもたちの様子、支援について状況を報告し、支援の実際を検討した。 |
| 6月22日 | アンケート実施のためのプリント作成 ・内 容：各校の保健室での子どもたちの様子、支援について状況を報告し、支援の実際を検討した。 |
| 8月9日 | 保健室での子どもたちへの支援について検討 ・内 容：保健室での会話や日常生活の中で「いのち」に関する共有体験ができるような支援について事例を挙げながら検討する。自分の感情の扱い方や「いのち」について考えさせる支援について検討する。 |
| 9月・10月 | アンケート調査の準備 ・内 容：各校でアンケート実施に向けて校内で提案をする。 |
| 11月 | いじめのアンケートと重なる部分があり、今年度のアンケート実施を見合わせる。 |
| 12月14日 | 研修会 ・内 容：講師を招聘し、お互いの気持ちを大切にするためのアサーショントレーニングを学ぶ。 ・講 師：臨床心理士 ・成 果：保健室での子どもに対するアサーティブな対応や支援を実習す |

るとともに、アンケートをすることで、心と体の変化を知って自分でよりよい対応ができるように支援する方法を学ぶことができた。

1月11日

研修会

- ・ 内 容：講師を招聘し、保健室での子どもに対するアサーティブな対応や支援の理解を深める。
- ・ 講 師：臨床心理士

今後の予定

1月25日

自主研究会発表準備

- ・ 実施場所：姫路市総合教育センター

2月8日

「いのちの大切さ」を理解するために、お互いの気持ちを尊重する（アサーティブな）対応ができるような保健室での支援について発表する。